

科目名	メディアコンテンツ特論		英文表記		2014/3/31			
科目コード	6305							
教員名:西村篤 技術職員名:なし					作成			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・情報工学コース			専1	選	学修	2単位	講義	後期
科目目標	メディアコンテンツの表現内容と技法は、それを取り巻く政治的・社会的状況、また受け入れる側のライフスタイルや価値観によって大きく影響を受ける。本講義では地域社会におけるメディアコンテンツの果たす役割について事例を通じて学ぶと同時に、参加者自身が関連するテーマを選択して発表と討論を行うゼミナール形式で理解を深める。							
総合評価	(1)各単元ごとに課すレポートの内容(40%)、(2)発表と発表資料の内容(40%)、(3)発表における質疑応答の内容(20%)、により評価し、60%以上の達成を合格とする。							
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	メディアコンテンツの価値についてエコロジカルな観点から考えることができる。(A-3)			⇒	レポートと発表によって評価する。	30%	
	②	メディアコンテンツの社会的応用について自分の意見を持ち、他者に伝えることができる。(A-3)			⇒	発表資料と発表によって評価する。	40%	
	③	議論において多様な意見を受容することができる。(A-3)			⇒	発表における質疑によって評価する。	20%	
	④	授業に主体的に参加することができる。			⇒	議論における発言数と内容によって	10%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学		
					JABEEプログラム教育目標			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		0	0	30	70	100		
基礎的理解	①			30		30		
応用力(実践・専門・融合)	②③				20	20		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	②③				40	40		
主体的・継続的学修意欲	④				10	10		
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要】メディアコンテンツが、特定の媒体に特化したデータではなく、社会の中で主体と環境の関係性によって生じる意味や価値の世界であることを身を持って体験しようとする。【授業方針】そのため、この授業では担当教員による学説や事例の紹介とともに、受講生自身が主体的に自分の考えや感性を形成していけるように、ゼミナール、ワークショップなど参加型の授業形式を導入する。ゼミ形式の討論では、担当学生によるプレゼンテーションをもとに、出席者全員が討論を行う形式を採る。【履修上の注意】この授業では問題を個人的な問題と結び付け、自ら感じたり考えたりすることが重要であるので、主体的な取り組みを心掛けて欲しいと思います。							
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はない。教材としてプリントを適宜配布する。							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス	2	授業の目的・目標・学習方法について学ぶ。		
2	コンテンツ制作と技術	2	コンテンツ制作技術の発達について講義形式で学	復習・発展課題	
3	コンテンツ制作と社会	2	プロパガンダ、研究方法など多様なコンテンツ応用事	復習・発展課題	
4	コンテンツ制作と環境	2	メディア表現と環境問題の関係について、サウンドス	復習・発展課題	
5	事例研究	2	作品を事例にしてコンテンツの社会的応用について	復習・発展課題	
6	ゼミ形式討論(1)	2		復習・発展課題	
7	ゼミ形式討論(2)	2		復習・発展課題	
8	ゼミ形式討論(3)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、参加者全員で討論を行う。	復習・発展課題	
9	ゼミ形式討論(4)	2		復習・発展課題	
10	事例研究(2)	2	作品を事例にしてコンテンツの社会的応用について	復習・発展課題	
11	ゼミ形式討論(5)	2			
12	ゼミ形式討論(6)	2			
13	ゼミ形式討論(7)	2	受講生がテーマを選択して話題提供し、参加者全員で討論を行う。		
14	ゼミ形式討論(8)	2			
15	総括	2	授業全体のまとめを行う。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	授業で学んだことを復習するとともに、自分の考えをまとめて、レポートを提出する。			60分×9回	
②	企画・発表準備			360分×2回	
③					
備考欄					
<p>(共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目の主たる関連科目は電子回路I・II(3年)、集積回路I(4年)、集積回路II(5年) <p>その他必要事項は各コースで決める。</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)